

いす組

深よみめんこちゃん

月齢の小さい子ども達も周りの子ども達が気になるようになってきました。泣いている子どもがいると自分がしてもらったように頭を撫でてあげています。

取ってあげるね



広告遊びの際、周りの子どもの頭に紙吹雪が付いているのに気づき払ってくれているA君。それを叩かれたと感じて「やー」と逃げようとするS君。

紙が付いていて取ってくれているんだよ。びっくりしたよね。



S君の気持ちを受け止めながらA君がしてくれていることを伝えると、座り直しじっとしていたS君。

A君に「取ってくれてありがとう。」と伝えると笑顔を見せ、また紙を取ってくれました。そのやりとりを見ていたEちゃんもAちゃんの頭の紙吹雪を取ってくれていました。また、紙の量によって、手の平を使ったり摘んだり手指の使い方に変化が見られました。

この遊びから育つもの
・優しさ
・量
・手指の動き
・感触(毛と紙)

こんなふうにそだってほしいなあ・・・
保育者がお互いの気持ちを受け止め代弁することで、相手の気持ちに気づけたり関わりが広がってほしいな。

ゆるる思い



年長時の姿を真似て、数人のグループで鬼決めをして、自分達で鬼ごっこを楽しむようになった子ども達。繰り返し楽しむ中で、きりん組だけの「プリキュアごっこ」が始まりました。プリキュアはフラフープで怪人を捕まえ、自分達の陣地に連れてくる、一方怪人はプリキュアに捕まらないように、走ったり、わざと目の前に現れたりしています。

その遊んでいる様子を見て、楽しそうと思った複数の子どもがその遊びに加わり、突然遊びが終わってしまうハプニングがありました。



「入れて」と言わずに入ってきたからだよ。ルールを守らないから。

みんなの遊びが楽しそうだったから一緒に遊びたかったのかもしれないね。

きりん組



保育士が相手の思いを伝えると納得したような子ども達。自分達で「こうやって遊ぶんだよ」「入れてって言ってね」などと話し合い、解決しようとしていました。

こんなふうにそだってほしいなあ・・・
遊びの中で少しずつ自分達でトラブルを解決したり、友達と楽しく遊ぶためのルールの大切さに気づき、守ろうとする気持ちが育ってほしいな。

この遊びから育つもの
・ルールに気づき
守ろうとする力
・一緒に活動する楽しさ